

ロンドン 2021年8月19日

ドイツ、BGH フライタール製鉄所向け AOD 転炉新設 工事完工

- 柔軟な生産を実現
- 原材料、耐火物、電力、資材の消費を削減
- 処理時間の短縮により生産効率を向上
- 最終製品品質の一層の向上

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies) は、ドイツの鉄鋼メーカー、BGH エデルシュタールヴェルケ社 (BGH Edelstahlwerke GmbH) 向け AOD 転炉新設工事を完工し、最終検収書を受領しました。本工事により同社のザクセン、フライタール製鉄所が拡張し、既存の VOD プラントの生産負担量が低減します。低い設備投資コストで生産の柔軟性が上がり、原材料、耐火物、電力、操業用資材の消費が削減されます。また、処理時間が短縮されるため、生産効率と最終製品品質が向上します。ステンレスと特殊鋼の年間生産量は合計 12 万トンとなる予定です。本工事は 2019 年初頭に受注しました。

本工事で当社が供給したものは、AOD 転炉 (50 トン)、合金・骨材システム、ドッグハウス、一次ガス冷却システム、補助付帯設備、オートメーションなどの電機システムです。エンジニアリング全般、据付と試運転の指導、現場での操作トレーニングも担当しました。既設プラント内への AOD 転炉新設のため、建屋の高さ制限に対応した特別なソリューションを考案し、操業を妨げることなく、短期間で導入を完了しました。

BGH エデルシュタールヴェルケ社はオーナー経営の中規模グループ企業で、ドイツとポーランドに複数の独立した生産会社を保有しています。フライタール製鉄所 (BGH Edelstahl Freital GmbH) は BGH グループ内最大の製鉄施設で、電気炉、二次精錬設備、インゴット鑄造設備、水平式連鑄機からなるミニミル製鉄工場です。後工程では、粗ブロックミルと線材圧延機で圧延処理が行われます。高合金、高速度鋼、ニッケルベース合金から、厳しい使用に耐える直径 5 mm ~160 mm の線材と棒材が製造され、

その品質はシングルバー焼戻しライン、ピーリングライン、ポリッシングライン、最新の超音波クラック検出装置が確かなものになっています。当社は、2013年に線材圧延機の自動化と駆動システムの近代化、2017年には電気炉の近代化を行いました。



ドイツ、BGH エデルシュタールヴェルケ社のザクセン、フライタール製鉄所に新設されたプライメタルズテクノロジーズ製 AOD 転炉

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）によるプレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。 www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室（広報担当：山下）
〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業（株）広島製作所内
電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ 公式ツイッター: twitter.com/primetals

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies, Limited) は本社を英国・ロンドンに置き、金属鉄鋼産業におけるエンジニアリング、プラント建設、およびライフサイクルサービスの提供を行うパイオニアかつ世界的リーダーです。当社は電機、オートメーション、デジタルライゼーション、及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、原材料から完成品まで鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は三菱重工およびパートナーの出資によるグループ会社で、従業員数は全世界で約 7,000 人です。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト : <https://www.primetals.com/jp>